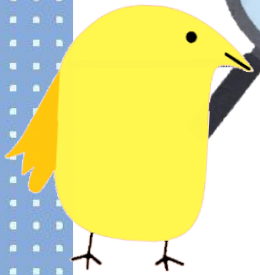


学 生の図書館活用方法



充実した大学生活のために

社会福祉学科 2年 植村 彩菜パール

保健大生の皆さん、こんにちは！大学生活は毎日が学びの連続で、勉強やサークル活動、ボランティア活動、アルバイトなど自分自身にとって刺激になる機会が沢山あります。コロナの影響で思うようにはいかないかもしれませんが、そんな中でも自分から積極的に行動することで、充実した大学生活を送りましょう！

そのためには、学生の本分である勉強は欠かせません。大学の勉強は、自分の将来に繋がる各職種の専門的な知識を必要とします。また、定期試験のほかにもレポートを書く機会があります。そのような時に私たちを助けてくれるのが附属図書館です。

図書館には、各学科それぞれの分野に関連した多くの本や雑誌、論文などの専門書のほかにも、小説や漫画などが置いてあります。レポート作成時には、図書館の本を活用することで講義では学べなかった知識を身につけることができるなど自分の成長に繋がります。私自身もレポート作成時には、よく図書館の本を利用しています。自分の求めている本の近くには、その情報に関連した本が並んでいるため、視野が広がり、レポートの内容を充実させることができます。また、本学の図書館では「無人開館」というシステムがあります。これは、通常の開館時間以外に早朝から深夜でも図書館を利用できるというもので、テスト期間などには多くの学生が利用しています。実際に、私も家にいるとなかなか勉強に集中できないため、テスト期間にはよく利用し、周りの学生が勉強に励んでいる姿を見てモチベーションを高めながら勉強をしています。

図書館は、自らの知識を高め、視野を広げる場所となるだけでなく、私たちが勉強するのにとても適している場所です。皆さんが将来に向かって努力することを全力で応援してくれる図書館を有効活用し、大学生活を豊かなものにしていきましょう！

